

オオハンゴンソウの分布状況

はじめに

例年通り、平成27年8月4日日環境省の提唱で核関係団体が参加して除去作業が行われた。当協会は例年担当しているエリアから毘沙門沼ノ分岐点の東側を担当。除去作業も変更し、保護官事務所で試行してきた方法での実施となりました。その方法は除草剤（ラウンドアップ）を100倍に希釈したものを500mlのペットボトルに入れ、スポンジに含ませオオハンゴンソウの葉に少し叩くように塗布するというもの。ゴムの手袋をして首からペットボトルを下げ、キャップも穴の開けたものに変えて、スポンジにその都度含ませる手順の作業です。慣れてくるとはかどりますが、横並びで進んだ場合隣の人と作業が重ならないように上部を折る作業が加わるので、このひと手間が手間取る。この方法は根まで薬剤効果があるので抜いて種が拡散より良いと思われる。スポンジからの液漏れや飛散もないので、他の植物への影響は少ない。先の折れたものが薬剤塗布とわかるので、後の検証にも役に立つと思われる。

この方法はボランティア意識の高い人たちでの実施は可能かもしれないが、夏の暑い中での腰をかがめたりやぶ蚊の中での作業になるので難しいと思われる。自分の敷地内で繁茂状況が初期であれば可能とも思われるので、方法の説明・啓蒙活動を工夫して展開していく必要がある。

今年度は8月お盆過ぎから末まで雨が多く、国道沿いは草刈をされる方も遅れ気味で花も早く種を付けていた。

調査日

平成27年 8月3日・8月4日・9月1日・9月2日

調査方法

GPSを使用し面積を割り出し、地図へ落した。

猪苗代方面に向かって左右を統一して記述した。

レベル基準

- 1 10本以下
- 2 10～30本
- 3 30～100本
- 4 100本以上

調査範囲

・県道（猪苗代一米沢）剣ヶ峰交差点～早稲沢元スカイバレー入口跡

- ・ 村道 早稲沢～檜原
- ・ 国道 459号線 磐梯朝日国立公園看板～元ゴールドライン入口跡
- ・ 村道 剣ヶ峰分岐～曾原～孤鷹森
- ・ 村道 五色沼入口～蛇平～小野川～グランデコリゾート
- ・ 村道 秋元湖入口～千貫橋
- ・ 県道 剣ヶ峰～レークライン入口跡～望湖台
- ・ 国道 459号線 道の駅まで

考察

人の活動域に沿ってオオハンゴンソウは拡散し、適応状況にあった場所で繁茂していくと思えるが、萱やススキ等と混在している川辺はしぜんに消滅していくのかが分からない。日当たりの良い場所では繁茂状態が維持されるが昨年同様に日当たりの悪い場所では減少傾向にあるように見える。

私有地での調査も難しい点が多く、駆除作業となると制約がありすぎる。啓蒙活動として除草剤のピンポイント塗布は効果的と思われるので、ペットボトルの液とスポンジをセットにしてパンフレットと一緒に配布するというのもひとつではないだろうか。

459号線ビジターセンター周辺道路拡張工事に伴う毘沙門沼から長瀬川へ流入する川の暗渠化の工事が進められ、その周辺の調査ができなかった。工事による拡散がどの程度のものか来年度調査を早めから実施したい。

- 1・地区ごとへの啓蒙活動（パンフレット制作）
- 2・地区を限定して駆除作業を実施

調査者 真野真理子